

令和元年度

鶴ヶ島市福祉教育・ボランティア学習研修会

地域づくりと福祉教育プログラム ～サービスラーニングの視点から～

1 趣 旨

従来の福祉教育のプログラムは、対象者理解や援助技術の習得、生徒たちのやさしさやおもいやりといった感情形成に重きがおかれ、「地域」との関係作りという点においては十分に目が向けられない傾向がありました。しかし、子どもの貧困や障害に対する差別による事件など、社会的孤立や排除の思想が背景にある地域の課題は深刻です。そういった中、子どもたち自身が住んでいる地域へ関心をもち、地域にある課題に気づき、その解決にむけて何か動いてみる過程を通しての学びが大切になってきています。

子どもたちの学びの場を教室だけでなく、地域社会にも広げ、交流と活動をとおして地域社会を学ぶ福祉教育を展開することはとても重要です。社会貢献活動を通して地域社会を学ぶ福祉教育の実践においては、サービスラーニングの手法を取り入れることが有効だと考え、以下の通り、研修会を実施します。

また、今年度は、新たな課題への気づきを、発達障害やLGBTQの当事者からのプログラムも紹介します。

2 日 時 令和元年 7月 29日 (月) 午後1時30分～午後4時30分

3 主 催 社会福祉法人鶴ヶ島市社会福祉協議会
鶴ヶ島市教育委員会

4 講 師

(1) コーディネーター

早稲田大学人間科学学術院 健康福祉科学科
准教授 大島 隆代 氏

(2) 学校における福祉教育の展開

① 鶴ヶ島市立藤中学校 校長 横山 武仁 氏

② 鶴ヶ島市立栄小学校 校長 向田 正人 氏

(3) 実践プログラム報告

① HUG 避難所運営ゲーム

鶴ヶ島市福祉教育・ボランティア学習推進員 ういず・共に

② L G B T Q 性的マイノリティへの理解

齋喜 逸江 氏(トランスジェンダー当事者)

③ 発達凸凹 発達障害への理解

櫻井 栄里 氏(発達障害当事者・ぽっぷこーん代表)

5 会 場 鶴ヶ島市教育センター研修室

6 対 象 市内小中学校教員、教育関係者等

7 定 員 40名

8 申込期限 令和元年 7月22日（月）

9 プログラム

| 時間 | 内容 |
|-------------|--|
| 13:15～13:30 | 受付（会場：鶴ヶ島市教育センター研修室） |
| 13:30～13:40 | ■開会 ■あいさつ 社会福祉法人鶴ヶ島市社会福祉協議会 会長 |
| 13:40～14:40 | ■学校における福祉教育の展開 (1) 総合的な学習の時間で福祉教育に取り組む (2) 様々な機会から、地域と取り組む福祉教育 コーディネーター 大島 隆代 氏(早稲田大学准教授) |
| 14:40～14:50 | 休憩 |
| 14:50～15:30 | ■グループに分かれて体験*参加者は一つだけ体験を選択 ①HUG 避難所運営ゲーム ②LGBTQ 性的マイノリティへの理解 ③発達凸凹 発達障害への理解 |
| 15:30～16:00 | ■体験の共有 グループごとに実践について、学校や地域のどんな場面や授業で使えるか、また実践自体の良いところや改善点等出し合う。 |
| 16:00～16:20 | ■全体共有 体験参加者からの報告 |
| 16:20～16:30 | ■閉会 鶴ヶ島市立教育センター 所長 |

（申込）参加ご希望の方は、下記ご記入のうえ、FAX、又は社会福祉協議会までご持参ください。電話でも申し込み出来ます。締め切り 7月22日（担当：牧野）

TEL 049-271-6011 FAX 049-287-0557

| 氏名（ふりがな） | 所属 | 連絡先（電話） | 体験希望 | |
|----------|----|---------|-----------|--|
| | | | ①避難所運営ゲーム | |
| | | | ②性的マイノリティ | |
| | | | ③発達障害への理解 | |

体験の希望につきましては、第一希望、第二希望、第三希望まで入れてください。希望に添えないこともありますので、あらかじめご了承ください。